

もり

銀の森林通信

令和6年8月

第79号



トリケラ

伐倒から枝払、寸法を測った玉切まで1台で行える林業機械です。曲がり材も確実に造材します。

CONTENTS 内容紹介

- 01 令和6年度 組合長挨拶
令和6年度 通常総代会
- 02 事業活動の概況
運営の基本方針
- 03 事業説明会の実施
林業専用道開設
- 04 ICT機器導入について

- 05 新入職員紹介
相続登記について
- 06 林業祭
組合員の名義変更手続きについて
- 07 伐って、使って、植えて、育てる!
切株グランプリ
- 08 大田市林友会活動記
- 09 木工館で体験しよう!



組合長挨拶



代表理事組合長 林 達夫

組合員の皆様には、平素より大田市森林組合の諸活動に対し格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

近年、世界各地で紛争や気候変動が原因といわれる気象災害が発生し、日本においては円安、物価高騰など混迷の新時代に突入したと言われています。また、世界経済の見通しは、パンデミック、インフレ、金融引き締めによる混乱から4年を経て、短期的には改善しているものの過去の水準からすると依然として低調であると言われてしています。

こうした中、国内の森林・林業・木材産業を取り巻く情勢は、ウッドショック後の木材価格の下落や燃料を含めた資材の高騰などで厳しさを増していますが、令和元年度から配分されている森林環境譲与税の配分基準について見直しがなされ、令和6年度から私有林の人工林面積の多い市町村に多く配分されることが決まり、今後の地域林業の成長産業化にはずみがつくものと期待されています。また、気候変動対策としてのカーボンニュートラルを達成するための方策である国内のJ-クレジット制度についても、登録件数と認証量も年々増加している

状況であり、今後の森林整備の拡充に資すると考えています。当組合の温室効果ガス吸収のプロジェクトも本年3月にJ-クレジット認証委員会に登録され、その後の二酸化炭素吸収量の認証申請を行う必要はありますが、当該制度に取り組み目途が立ったところです。

さらには、世界的に生物多様性の保全が叫ばれる中、林野庁においては、森づくりに新たな投資を呼び込むため、生物多様性の保全につながる林業経営のあり方を今年度を示す方針であり、かつての拡大造林と利用期に達した木材の伐採を主眼とした政策からSDGsの掲げる目標を意識した多様な森林造成へと舵が切られていると思われまます。

こうした状況の中、当組合では持続可能な森林経営の確立を目指し、伐採・更新・保育など総合的な低コスト林業と、森林の持つ多面的機能の活用不可欠な路網の整備を柱に各事業を行いました。令和5年度の収支については、次ページに掲げますが令和4年度に引き続いての黒字ということになりました。これもひとえに、組合員の皆様、関係各位のご指導、ご協力のおかげであり、心より感謝しお礼申し上げます。

令和6年度の事業計画については、木材価格の動向が不透明な中、さらなる生産コストの縮減と販売先の情報収集を行い有利販売に努める所存です。また労働価値観の変化、慢性的な人手不足や森林境界の不明確化が進むなど、組合運営も厳しい状況が続きますが、役職員ともに鋭意努力いたしますので、組合員の皆様には今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

5月30日 | 大田市民会館



令和6年度 大田市森林組合通常総代会を開催しました。

総代会では、初めに林組合長の挨拶、永年勤続職員の表彰の後、来賓を代表して楢野弘和大田市長ほか2名の方より祝辞を頂きました。総代196名中150名(内、書面議決60名)の出席を得て、大屋町 林治彦 氏を議長に選任して議事に入り、提出した議案はいずれも原案どおり可決承認されました。



林 達夫 代表理事組合長



議長 大屋町 林 治彦 総代

永年勤続表彰者 \ おめでとうございます /

総代会で行われた「永年勤続職員表彰」の受賞者はこちらの3名。表彰状・賞金(記念品料)が贈られ、永年にわたる労をねぎらいました。おめでとうございます！

勤続
20年

川合町 熊谷 裕治さん(写真左)
富山町 中山 大介さん(写真右)
仁摩町 矢崎 経弘さん(写真中央)



【 令和5年度 事業報告 】 事業活動の概況 (抜粋)

我が国の経済は、物価高による消費下押しと人手不足による設備投資の遅延等により、景気回復の足踏みもみられるが、緩やかに回復している状況です。

林業界においては、森林・林業基本計画に基づき森林・林業・木材産業による「グリーン成長」を掲げ、令和4年の林業産出額は、前年対比6.4%の増加の5807億円となっています。

このような背景の下、「島根県農林水産基本計画」、「大田

市未来につなぐ森づくり構想」及び「大田市森林組合中期経営計画」に基づき、原木出荷量の増大を目指し林業専用道・森林作業道の開設やそれらの路網を活用した主伐・搬出間伐を実施することで、素材生産に努めました。

結果、事業総収益は567,212千円(計画比36,224千円増)、事業利益で18,410千円(計画比14,884千円増)となりました。

以下決算の状況についてお示しします。

令和5年度 **事業総収益** 567,212千円(計画比 36,224千円増) **事業総損益** 103,234千円(計画比 9,566千円増)
事業利益 18,410千円(計画比 14,884千円増)

I. 貸借対照表 (令和6年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部	金額	負債・純資産の部	金額
現金・預金	119,891,741	買掛金	2,185,067
売掛金	14,224,187	未払金	71,705,575
棚卸資産	6,346,757	未払法人税等	17,654,200
前払費用	1,646,291	預り金	15,511,486
未収金	266,488,265	賞与引当金	6,017,883
立替金	15,585,025	前受収益	18,000
長期預け金	45	流動負債計	113,092,211
流動資産計	424,182,311	長期借入金	165,000
有形固定資産	76,589,363	退職給付引当金	27,615,451
無形固定資産	3,748,710	役員退任慰労金引当金	1,264,650
系統出資金	15,880,000	固定負債計	29,045,101
系統外出資金	1,751,000	負債合計	142,137,312
リサイクル預託金	82,230	出資金	115,044,600
固定資産計	98,051,303	法定準備金	78,467,732
		任意積立金	156,391,501
		当期末処分剰余金	25,549,401
		資本準備金	4,643,068
		純資産合計	380,096,302
資産合計	522,233,614	負債・純資産合計	522,233,614

II. 損益計算書 (令和5年4月1日~令和6年3月31日) (単位:円)

科目	金額
事業収益	567,212,136
事業費用	463,977,526
事業総利益	103,234,610
事業管理費	85,094,024
事業利益	18,140,586
事業外収益	3,589,001
事業外費用	1,891,146
事業外損益	1,697,855
経常利益	19,838,441
特別利益	35,128,080
特別損失	19,834,353
特別損益	15,293,727
税引前当期利益	35,132,168
法人税・住民税及び事業税額	15,000,000
当期剰余金	20,132,168
前期繰越剰余金	5,417,233
当期末処分剰余金	25,549,401

(部門別損益計算書)

(単位:円)

部門	収益	費用	損益
指導	1,025,566	2,098,469	-1,072,903
販売	168,148,337	96,949,859	71,198,478
森林整備	398,038,233	364,929,198	33,109,035
森林整備	286,985,444	275,822,801	11,162,643
利用	108,388,379	87,001,586	21,386,793
購買(事業物資)	2,642,409	2,086,212	556,197
購買(生活物資)	22,001	18,599	3,402
合計	567,212,136	463,977,526	103,234,610

III. 令和5年度剰余金処分について

(単位:円)

1. 当期末処分剰余金	25,549,401
2. 剰余金処分額	
1) 法定準備金	5,000,000
2) 任意積立金	
損失補填積立金	2,000,000
施設整備積立金	2,000,000
林業機械等整備積立金	2,000,000
固定資産除却積立金	5,000,000
倉庫改修積立金	5,000,000
3. 次期繰越剰余金	4,549,401

【 令和6年度 事業計画 】 運営の基本方針 (抜粋)

令和6年度も原木生産量の増産や、「大田市未来につなぐ森づくり構想」に基づき、森林組合としてもその実現に向けて、継続的に取り組んでいきます。また、「大田市森林組合中期経営計画」に基づき、日常的な組織運営の検証と役職員研修等を実践しながら、協同組合としての基本的使命と社会的責任を果たします。

主な事業は次のとおりです。

主な事業の目標値

主伐・利用間伐事業 **素材生産量 18,000m³**
 森林整備事業 **保育施業 210ha 林業専用道(開設) 2,700m 森林作業道(開設) 28,000m 新植事業 29ha**

①成熟した資源を有効に活用するため、レーザー航測データを活用し、組合員のご理解を得ながらそれら資源の有効活用に取り組む。

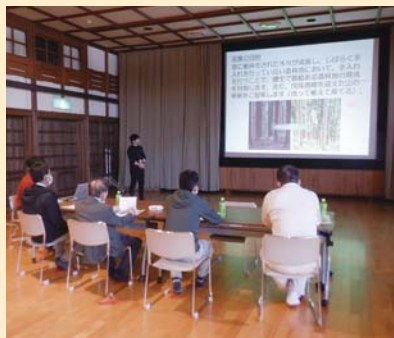
②山林境界の不明確化が急速に進行する中、不明境界の明確化に取り組む。

③成熟した資源を価値ある時に収穫するため、主伐事業に積極的に取り組む。

事業説明会を開催しています

林業専用道や森林作業道の開設、搬出間伐事業等の団地化による施業の計画に加え森林境界調査事業を行う際に関係者を招き事業説明会を実施しております。

事業計画についての説明のほか意見交換の時間を設け事業に対するご理解をいただけるよう努めています。



林業専用道(規格相当)について



令和6年度は5路線(継続路線含む)の林業専用道(規格相当)開設を計画しております。林業専用道とは、大型トラックの通行を想定した高規格の道で、構造物等を設置し排水対策も行います。木材の搬出コストの削減に有効な道となっており、第三者侵入防止策として、入り口付近に鍵付きのゲートを設置しております。

森林作業道について

森林作業道とは、林業用重機での走行を想定した道です。開設目的としては、伐採と作業後の植樹の低コスト化を図るものです。

森林作業道を開設の際は、事前に調査を行い関係者の承諾を得てから作業を行います。なお、各調査や開設工事の際に、関係者の皆様に費用の負担がないことが特徴です。



森林組合
からの
お願い!

ここ数年当組合が開設した専用道、作業道に許可なく敷地内に入られる方がいます。当組合は、基本的にその土地の所有者様から許可をいただいた上で作業道等の開設を行っております。そのため作業道等に入るとは、無断で私有地に侵入していることになります。

上記以外にも、野生動物及び滑落等の事故の危険がありますので、絶対に関係者以外は専用道、作業道に入らないようお願いいたします!



ICT技術の活用とDX化に向けて

ドローンの活用



ドローン紹介

機体名：DJI製 Phantom 4 ProV2.0

特徴

- ・4K/60FPSの高解像度撮影が可能
- ・iPadと専用コントローラーで自動操作可能
- ・最大30分程度連続飛行可能



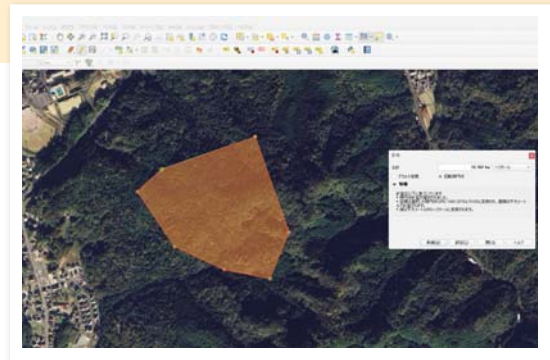
ドローンを導入し低コスト・省力化を目標に取り組んでいます。主な活用方法としては、施業地の空撮を行い航空写真を作成し、森林資源調査等に利用しています。導入前までは、複数人で行っていた施業地の面積調査が1人で出来るようになり、今後も様々な活用方法が期待出来ることから、当組合でも積極的に使用していく予定です。

GISソフトの活用

GISとは？

Geographic Information Systemの略称で日本語では「地理情報システム」の名称です。

GISソフトでは、座標値等様々な情報を持ったデータを加工・管理したり、複数のデータを地図上で重ね合わせ、視覚的に判読・分析しやすくするソフトです。



当組合では、様々なGISソフトを使用しています。

主な活用方法としては、施業予定地をGISソフトで調査し、現地調査を行わず簡易的な森林資源調査が可能となりました。これにより事前調査がスムーズに進み、実際の施業に向けての測量や土地の境界明確化が容易となり、事前準備のコストを大幅削減することが可能となりました。

iPhoneを活用した測量



iPhone(LiDARスキャナ)測量とは？

Light Detection And Rangingの略称で日本語では「光による検知と測距」の名称です。

iPhone12Pro以降に搭載されているLiDAR機能を使用し、森林作業道等の地表データを取得・測定を行い、測量アプリ上にAR(拡張現実)機能を利用した仮想の測量杭を打つことができます。

その他にも上記の機能を活用し、木の高さや太さも計測することが出来ます。

iPhoneを活用した測量を行っております。

主な活用方法としては、森林作業道や施業地の面積確定等の測量に使用しており、複雑な操作を必要とせず手軽に計測できることが大きな特徴です。このシステムを導入したことにより、従来のポケットコンパスを使用した測量と比較し、大幅な時間の効率化が出来ました。


新人

職 | 員 | 紹 | 介

令和6年度より、
入組した職員を紹介します!!

① 出身地 ② 所属部署 ③ 趣味・特技 ④ 一言!



中田 秀典

- ①大田市 ②森林整備課
③バンド、キャンプ
④技術の向上に努め、何事も真摯に取り組みます。



片岡 瞭

- ①出雲市 ②森林整備課
③動画鑑賞
④よろしくをお願いします。



加治 優也

- ①出雲市 ②森林経営課
③音楽ゲーム
④大田の森をよくしていきます!

相続登記について

あなたがお持ちの森林の土地の相続登記はお済みですか？

令和6年4月から、相続によって不動産を取得したことを知った日から3年以内に、相続登記の申請を行うことが義務になりました。

法施行より前に相続した不動産も、義務化の対象です。

新たに設けられる「相続人申告登記制度」により、早期に遺産分割をすることが困難な場合には、申請義務を簡易に履行することができるようになります。
(出典：林野庁)

1 相続（遺言も含みます。）によって不動産を取得した相続人は、その所有権の取得を知った日から3年以内に相続登記の申請をしなければなりません。

2 遺産分割が成立した場合には、これによって不動産を取得した相続人は、遺産分割が成立した日から3年以内に、相続登記をしなければなりません。

3 1と2のいずれについても、正当な理由（※）なく義務に違反した場合は10万円以下の過料（行政上のペナルティ）の適用対象となります。

令和6年4月1日より以前に相続が開始している場合も、3年の猶予期間がありますが、義務化の対象となります。不動産を相続したら、お早めに登記の申請をしましょう。

（※）相続人が極めて多数に上り、戸籍謄本等の資料収集や他の相続人の把握に多くの時間を要するケースなど。

(出典：東京都法務局)

組合の
取り組み

3年ぶりに林業祭を開催しました!!

令和5年10月22日(日)に大田市民会館で3年ぶりとなる「第8回林業祭」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ「高性能林業機械の展示・実演コーナー」、「丸太ボウリング」、三瓶木工館による「木工クラフト体験」などのブースを中心に、多くの皆様に楽しんでいただきました。中でも豪華景品を取りそろえ開催した「お楽しみ抽選会」はこの日1番の盛り上がりでした。

また、同日に林業祭と共同で開催された大田市主催「おおだし防災フェア」にも沢山の来場者にお越しいただきました。



大盛り上がりの大抽選会!



大人気の丸太ボウリング!



沢山のご来場ありがとうございました!!!



お知らせ

組合員みなさまへ

大田市森林組合 総務課

Tel 0854-82-8500

名義変更等の手続きはお済みですか?

- ・組合員様が亡くなられたとき
- ・名義を変えたいとき
- ・転居等により住所・連絡先を変更されたとき

組合員名簿に登録されている連絡先住所へ郵送しても、宛先不明で返送される組合員の方がおられます。

組合員の死亡による相続や経営委託（山林の相続・贈与ではないが経営管理を父から息子へ引き継いだ等）の場合は、組合員名義の変更手続きが必要となります。また、転居等による住所変更など組合員資格に異動があった際も変更手続きが必要となりますので、当組合総務課までお問い合わせください。

必要な用紙を送付しますのでご連絡をお願いします
組合のホームページからも資料請求できます



伐って、使って、植えて、育てる!

再造林支援事業について～伐採から再造林へ～

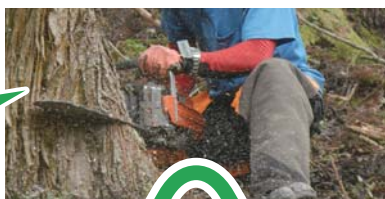
大田市森林組合では島根県が推進している木を「伐って、使って、植えて、育てる」循環型林業を目指すべく再造林について、平成29年度より独自の助成制度を実施しております。

助成対象の山林は、**スギ**や**ヒノキ**などの**人工造林地**の伐採跡地となります。助成内容は、伐採跡地への**再造林**及びその後の**下刈**（**植栽後5年程度**）を**所有者の負担なし**で実施するものです。

今後伐採をお考えの該当地がありましたら、是非ご相談ください。

主にスギやヒノキを伐採します!
木材は市場や合板工場等へ出荷します!

伐って 使って



植えて 育てる

伐採跡地等へ新たな苗を植栽しその後、
下刈り・除伐・枝打ち等を行います!



皆様ご所有の山林の伐採や、伐採跡地への植栽・その後の保育についても施業をお請けしております!

山林施業について、様々な疑問やお困りになる事があると思います。

そんな時は、ひとまず大田市森林組合へご相談してみませんか?

「興味はあるけど…費用って沢山かかりますよね?」といった方にも

現在多様な**助成制度***があります。

皆様のご希望される事業が補助金の助成対象となるかもしれません。

相談は無料です! 大田市森林組合職員一同、お待ちしております!! 是非ご利用下さい!

*助成制度には各種要件があります。助成制度活用の際は要件を満たしているか確認が必要になります。

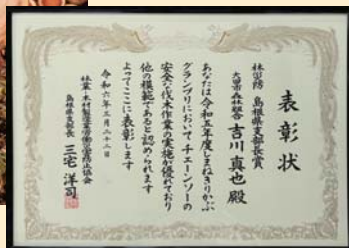


＼受賞おめでとうございます!／



吉川真也さんのコメント

模範になれるように
今後も木を伐らせてください!



林災防島根県支部長賞 受賞

チェーンソーによる安全な伐木作業を切り株の形で審査する「しまねきりかぶグランプリ」が初めて開かれ、県内の森林組合や企業から寄せられた切り株の写真が審査されました。

多くの応募があった中、当組合の吉川真也さんが林災防島根県支部長賞を受賞されました。おめでとうございます!

大田市林友会 活動記

～研修の成果を今後の実践・活動に活かす～

「林友会」とは...
 森林所有者の皆さんが林業について
 自主的に研究されるグループです。
— 会員募集中です!! —

新しくヨロイマツを発見!!



大田市森林組合による、三瓶町志学・上山地区での皆伐作業中に偶然ヨロイマツを発見!!
 しかし松枯れの被害を受けており、既に葉は黄色く変色が進んでいました。枯れているのを幸いに、伐採し標本として加工し、展示するように進めています。話には聞いていたが実物のヨロイマツのヨロイや板にしたときの杢目を見た人は少なく、標本として展示し、貴重なヨロイマツの関心を高めたいと思っています。



接ぎ木技術が向上

接ぎ木作業後の活着は50本中13本（23%）成功しました。今年はこれまでより活着率がよく努力の甲斐があり、今後の自信に繋がりました。



瀬摩高等学校生徒がヨロイマツの見学

瀬摩高生30名に三瓶町池田の市有林で発見されたヨロイマツを見学してもらいました。初めて見るヨロイマツの珍しい樹皮にびっくりする生徒たち。実際に見ながら説明を聞くことで、貴重なマツであることを理解してもらうことができました。今後、10月にはヨロイマツの話、2月には接ぎ木の仕方など、林業学習として取り入れてもらえることとなりました。林友会としても先の明るい活動となりうれしく思っています。

山に情熱を掛け続けた70年間の話に感動



90歳になる篤林家のこれまでのご苦労と作業方法など、林友会の総会后講師として櫻本達男さんをお招きし実体験をお聞きしました。これまで県知事をはじめとする数々の表彰を受けておられ、その成果は数十町歩の美林に如実に表れています。後日、林友会の研修視察で山を見学。30mばかりのまっすぐで無節のスギやヒノキにびっくり。また下草もきれいに刈られており、まるで公園のようでした。一朝一夕にはできない努力のほどが伺えて敬服し山仕事の手本を見た気がしました。

少花粉スギ苗を小学生が植栽体験

今年で3回目となる植栽を川合小学校5年生児童20名に体験してもらいました。ポット苗で容易に植栽ができて大いに満足したようでした。「循環型林業」や「SDGsと森林」についての話も聞き林業に関心を持ったようでした。

「林業新知識」に「大田市林友会」の活動が掲載されました!

「林業新知識」の令和6年1月号に大田市林友会のヨロイマツの遺伝子保存を中心にした活動が掲載され全国に紹介されました。今後ますますヨロイマツの大田市林友会が注目されることと思います。また、県林研より推薦を受け来年度の中国四国ブロック林業研究グループ研究大会で発表をすることとなりました。地味な活動ではありますが、これまでの取り組みを紹介し、今後の一層の励みとしたいと思います。あと一年更に活動に磨きを掛けたいと決意を新たにしています。



大田市林友会 会長 和田 秀夫

木工館で体験しよう！



クリスマスリース



ミニ門松



日本ミツバチの巣箱作り



しいたけ植菌体験



銅敷き (通常体験でできます)

各種体験会
開催しております。
団体でのご利用も
お待ちしております。

三瓶こもれびの広場 木工館

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1638-1

Tel 0854-86-0182

<https://sanbe-mokkokan.amebaownd.com/>